

教員公募要領



京 都 工 芸 繊 維 大 学
Kyoto Institute of Technology

公募開始日	令和7年9月12日
求人件名	京都工芸繊維大学 教授・准教授・助教 の採用
機関名	京都工芸繊維大学
機関URL	https://www.kit.ac.jp
採用組織名	別紙のとおり
機関種別	国立大学
公募のURL	https://www.kit.ac.jp/uni_index/teacher-employment/
担当業務・担当科目等	別紙のとおり
勤務地（住所）	京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎）
募集人員	別紙のとおり
採用予定日	令和8年4月1日
研究分野	別紙のとおり
職種	別紙のとおり
勤務形態	常勤
任期	別紙のとおり
勤務地（都道府県）	京都府
応募資格	次のいずれにも該当する者 ・公募する研究分野又は関連する分野で博士の学位を有する者又は研究上の業績が博士の学位を有する者に準ずると認められる者 ・公募する専門分野に関して顕著な研究・教育業績を有し、熱心な研究・教育意欲を有する者 ※その他の応募資格は、別紙のとおり
待遇	本募集により採用された場合の給与は年俸制となります。詳細は、本学規則集(下記サイト)をご確認ください。 https://www.kit.ac.jp/01/prescriptions/aggregate/catalog/index.htm また、任期中に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業等により研究活動が滞ることがないよう研究支援員を配置すると共に、助教として採用された場合は休業期間に応じ任期を延長することができます。 給与（年収） ・教授：900万円～ ・准教授：700万円～ ・助教：500万円～ ※経歴等により決定されます。 勤務時間等：専門業務型裁量労働制（みなし労働時間：1日7時間45分、週38時間45分） 試用期間：有り（6ヶ月） 受動喫煙防止のための取組：施設内禁煙（ただし指定場所に喫煙所設置）
応募締切日	令和7年10月22日（水）（17時必着）
応募書類	履歴書（上記「公募のURL」より「様式1」をダウンロード） 研究業績リスト（上記「公募のURL」より「様式2」をダウンロード。「著書」「学术论文(査読あり)」「参考論文(査読なし)」「口頭発表」「その他」に分類すること） 応募先の組織名が確認できる書類（上記「公募のURL」より「様式3」をダウンロード） 競争的資金獲得状況一覧（年度、研究テーマ、資金名称、代表者・分担者の別、金額などを記載すること。これまでに競争的資金の獲得実績が無い場合はその旨を記載） 主要な著書、論文5編（別刷り、コピー可）各1部

教員公募要領



京 都 工 芸 繊 維 大 学
Kyoto Institute of Technology

	教育に関するこれまでの経過と今後の計画（1000字程度の日本語または500語程度の英語）
	研究に関するこれまでの経過と今後の計画（1000字程度の日本語または500語程度の英語）
	応募者について照会が可能な方2名の氏名と連絡先（電子メールアドレスも含む）
	※ その他必要な応募書類は、別紙のとおり。
選考方法	書類審査を通過した候補者には面接を行います。また、選考の過程で追加書類の提出をお願いすることがあります。なお、これらの場合において旅費、郵送料等の費用は応募者の負担となります。
問い合わせ先	京都工芸繊維大学 人事労務課 問い合わせ先のメールアドレスについては、別紙のとおり。
応募書類提出先	上記の書類の電子データ（PDF形式）を京都工芸繊維大学人事労務課までEメールにて提出してください。提出先のメールアドレスについては、別紙のとおり。 ※メールアドレスの件名は、「京都工芸繊維大学〇〇〇〇学系（別紙の募集組織名を記載）応募書類の送付」としてください。 なお、電子データの容量の都合上、10Mを超える場合は、分割して送付いただくか、大容量ファイル送信システムを利用してください。 応募受領後、受領確認メールを送信します。数日お待ちいただいても受領確認メールが届かない場合は、ご連絡ください。 電子媒体に格納して郵送する場合は以下の住所まで送付してください。 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎 京都工芸繊維大学 人事労務課 ※封筒に「〇〇〇〇学系（別紙の募集組織名を記載）応募書類」と朱書きし、簡易書留または宅配便にて送付して下さい。
備考	応募書類は返却しません。また、応募書類および書類に記載された情報は本選考の用途以外には使用しません。
	本学は、多様な人材が活躍できるダイバーシティ研究環境の実現に向けて取り組んでおり、男女共同参画社会基本法および男女共同参画基本計画の趣旨を尊重し、男女雇用機会均等法第5条に則した人事を行っています。
	別紙に記載の担当業務以外に、入試等の大学運営、社会貢献等に関わる業務も担っていただきます。
	適任者がいない場合には、今回の採用を見送ることもあります。
	※ その他の特記事項については、別紙のとおり。

No.	採用組織名	募集する分野	募集の背景等	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	任期	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
1	材料化学系	ナノ物性化学分野	【募集の背景・内容等の説明】 京都工芸繊維大学材料化学系では、材料化学分野における教授を1名募集することになりました。エネルギーや資源に関する課題を解決するため、無機材料を基材として、有機・無機、低分子・高分子物質との複合や合成により、新しい原理に基づく環境材料を創生する、独創性と創造性に優れた独自の研究を推進していただける方を求めます。特に、材料化学（高分子化学、有機化学、物理化学を含む）を学術基盤とし、環境発電を含む熱・赤外光の利用によりエネルギーや資源に関する課題の解決を指向した先導的研究の実施ならびに社会実装を目指し、様々な国際展開を行う人材を求めています。また、教育研究活動に大きな情熱を持ち、協調性をもって、管理運営業務に積極的に貢献していただける方を求めます。着任後は、独立した研究室を立ち上げていただきます。 【配属部署】 教員組織：材料化学系 関連する教育組織： （学部）応用化学課程材料化学デザインコース （大学院）材料創製化学専攻〔博士前期課程〕、及び、物質・材料化学専攻〔博士後期課程〕	1名	担当業務： ・材料化学を学術基盤とした先導的研究の実施 ・右記専門分野における大学院・学部生に対する教育・研究指導 ・材料化学系及び大学における管理運営業務 担当科目： ・「物理化学」、「材料化学」に関連した学部、大学院科目	大分類：ナノテク・材料 小分類：ナノ材料科学 大分類：ナノテク・材料 小分類：エネルギー化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：ナノ構造化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：機能物性化学	教授	任期なし	・博士の学位を有すること ・業務の遂行に必要な高い日本語能力を有する方			jinji-saiyou10@jim.kit.ac.jp
2	材料化学系	光機能無機材料分野	【募集の背景・内容等の説明】 京都工芸繊維大学材料化学系では、材料化学分野における准教授を1名募集することになりました。無機化学の分野を基盤とし、基礎と応用の両面から、環境・エネルギー分野に関連した新材料開発に関する研究を推進できる人材を求めています。特に、カーボンニュートラル社会の実現に向けた高効率エネルギー変換を可能とする光機能材料等の開発に関して、独創性と創造性に優れた独自の研究を推進していただける方を求めます。また、教育研究活動に大きな情熱を持ち、協調性をもって、管理運営業務に積極的に貢献していただける方を求めます。着任後は、独立した研究室を立ち上げていただきます。 【配属部署】 教員組織：材料化学系 関連する教育組織： （学部）応用化学課程材料化学デザインコース （大学院）材料制御化学専攻〔博士前期課程〕、及び、物質・材料化学専攻〔博士後期課程〕	1名	担当業務： ・無機化学を学術基盤とした先導的研究の実施 ・右記専門分野における大学院・学部生に対する教育・研究指導 ・材料化学系及び大学における管理運営業務 担当科目： ・「無機化学」、「材料化学」に関連した学部、大学院科目	大分類：ナノテク・材料 小分類：エネルギー化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：無機物質、無機材料化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：無機・錯体化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：ナノ構造化学	准教授	任期なし	・博士の学位を有すること ・業務の遂行に必要な高い日本語能力を有する方			jinji-saiyou11@jim.kit.ac.jp
3	分子化学系	有機材料化学	太陽電池、発光ダイオード（有機EL）、有機トランジスタ、人工筋肉など、固体有機材料は近年大きな注目を集めている。固体有機材料の特性は、微視的な分子配列に強く依存するため、その配列を自在に制御する技術革新が強く求められている。こうした背景を踏まえ、新しい発想に基づく次世代固体有機材料の創出を担う人材を募集する。	1名	担当業務： 有機化学、精密合成化学、有機機能材料化学を基盤とした革新的な次世代有機機能材料の開発に取り組む独創的な研究を推進する。 また、上記専門分野における学生指導。 担当科目： 応用化学課程専門科目、特に「有機化学」ならびに「有機機能材料化学」に関連した学部、大学院科目	大分類：ナノテク・材料 小分類：有機機能材料 大分類：ナノテク・材料 小分類：有機合成化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：構造有機化学、物理有機化学	助教	任期あり（5年）・再任可	京都工芸繊維大学物質合成化学専攻では、分子レベルでの精緻な分子設計と高度な合成技術に基づき、先進的な次世代有機機能材料の創成とその応用に関する研究および教育を推進している。本専攻において、有機合成化学を基盤とした次世代固体有機材料の開発に取り組むとともに、有機化学および有機機能材料化学における研究と教育に熱意をもって従事できること。 また、当該研究分野の教員と協力して、研究および教育活動に積極的に取り組む意欲と能力を有すること。			jinji-saiyou12@jim.kit.ac.jp
4	分子化学系	生物化学工学	「生物化学工学」は、生物機能を工学的に捉え、医療・食糧・環境・エネルギーといった社会課題の解決に貢献する学際的分野である。近年、バイオものづくりやバイオ医薬品分野への注目が高まり、「生物化学工学」への社会的ニーズが急速に高まっている。特に創薬分野では、低分子医薬品からバイオ医薬品への移行が進み、従来の培養生産技術の活用に加えて、AI・データサイエンスと融合した新技術の開発が求められている。こうした背景のもと、分子化学系では生物化学工学を専門とし、有用生体分子の物質生産プロセスに関連した工学研究に取り組む若手研究者を助教として募集する。	1名	担当業務： 生物化学工学を学術基盤とした先導的研究の実施 上記専門分野における学生指導。 担当科目： 「化学工学」および「生物化学工学」に関連した学部、大学院科目	大分類：ものづくり技術 小分類：バイオ機能応用、バイオプロセス工学 大分類：ものづくり技術 小分類：触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連 大分類：ものづくり技術 小分類：反応工学およびプロセスシステム工学	助教	任期あり（5年）・再任可	京都工芸繊維大学機能質化学専攻では、生命活動に関わる多様な生体分子の構造と機能を計測・解析し、その知見を基にした物質の機能制御、機能物質の創製と応用・生産ならびに先導的分析計測法の開発を志向した研究・教育を実施している。 応募者は、本専攻において、生物化学工学を専門分野とし、同分野における基礎研究または応用研究を通じて、有用生体分子の物質生産に関する工学研究を推進するとともに、バイオ産業のプロセス開発に貢献できる人材を募集する。なお、培養工学の研究経験を有し、関連分野の担当教員と相互協力のもと、研究を進めることが望ましい。			jinji-saiyou13@jim.kit.ac.jp

No.	採用組織名	募集する分野	募集の背景等	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	任期	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
5	機械工学系	ロボティクス・スマートメカシステム分野	本件は、知的機械と高度制御システムの進展を背景に、ロボティクスや制御工学を基礎とした新たな技術潮流を切り拓き、「人と高度自律システムが共生する社会」の実現を先導する研究力を強化し、本学の学術的プレゼンスを飛躍的に高めることを狙いとしている。	1名	担当業務： 機械工学を学術基盤としたロボティクス・スマートメカシステム分野に関する教育研究および学生の研究指導 担当科目： 機械工学、特にロボット工学や制御工学に関連した学部、大学院科目	大分類:情報通信 小分類:機械力学、メカトロニクス 大分類:情報通信 小分類:ロボティクス、知能機械システム 大分類:情報通信 小分類:知能ロボティクス 大分類:ものづくり技術 小分類:制御、システム工学	教授または准教授	任期なし	「人と高度自律システムが共生する社会」の実現に向けて、たとえば、人間協調ロボティクス・人間中心制御、柔軟性・適応性を支える先進制御アルゴリズム、生体親和性医療ロボティクス、生物模倣システム、自律化とAI統合、新原理アクチュエータ制御技術などにおいて卓越した知見を中核に据え、多分野融合による新たな潮流・パラダイムを切り拓く情熱あふれる人材であること。また、国際的な研究者ネットワークを有し、グローバルな環境下で研究を先導的に推進できる資質を持つこと。	教育実績・学界活動リスト(公募のURLより様式4をダウンロード)		jinji-saiyou14@jim.kit.ac.jp
6	機械工学系	AI関連分野	本件は、自律化・知能化により機械工学の応用領域が拡大する中、幅広い機械工学の分野においてAI技術を軸とした研究力を強化し、新たな技術潮流を切り拓く人材の確保を目的としている。	1名	担当業務： 機械工学分野に関する教育研究および学生の研究指導 担当科目： 機械工学に関連した学部、大学院科目	大分類:情報通信 小分類:計算科学 大分類:ものづくり技術 小分類:材料力学、機械材料 大分類:ものづくり技術 小分類:加工学、生産工学 大分類:ものづくり技術 小分類:バイオ機能応用、資源科学プロセス 大分類:ものづくり技術 小分類:制御、システム工学	教授	任期なし	「人と機械が共生する社会」を見据え、人間中心設計やモビリティ・適応性の向上、AI統合による自律化、新原理アクチュエータなど多彩なテーマを開拓できる人材であること。	教育実績・学界活動リスト(公募のURLより様式4をダウンロード)		jinji-saiyou15@jim.kit.ac.jp
7	機械工学系	エネルギー・環境分野	本件は、省エネルギー・脱炭素化が求められる中、熱工学とエネルギー環境の融合による先端技術の創出を推進し、材料・製造・解析分野との連携によって学系全体の研究力強化と波及効果を担うものである。	1名	担当業務： 機械工学を学術基盤とした熱力学分野に関する教育研究および学生の研究指導 担当科目： 機械工学、特に熱力学に関連した学部、大学院科目	大分類:環境 小分類:環境材料、リサイクル技術 大分類:ものづくり技術 小分類:熱工学 大分類:ものづくり技術 小分類:流体工学 大分類:ものづくり技術 小分類:移動現象、単位操作	助教	任期あり(5年)・再任可	マテリアル分野との連携によるエネルギー変換材料、高効率熱物質輸送材料、耐熱・断熱材料の開発や、3Dプリンティング技術との組み合わせも高い親和性を持ち、本学系のコアとなるAIシミュレーション技術との協働によって熱流体解析の高度化や省エネルギー機器の設計最適化などにさらなる成果が期待できる人材であること。さらに女性員もしくは外国人に限定する。	教育実績・学界活動リスト(公募のURLより様式4をダウンロード)		jinji-saiyou16@jim.kit.ac.jp
8	機械工学系	マテリアル分野	本件は、シミュレーション主導型材料開発の需要増に対応し、マテリアルDXやデジタルツイン技術を駆使した高精度材料設計を推進する若手研究者を採用し、本学の中核技術である材料シミュレーションの体制強化を図るものである。	1名	担当業務： 機械工学を学術基盤とした計算科学・材料科学を活用する複合領域分野に関する教育研究および学生の研究指導 担当科目： 機械工学、材料科学・計算科学に関連した学部、大学院科目	大分類:情報通信 小分類:計算科学 大分類:情報通信 小分類:高性能計算 大分類:ものづくり技術 小分類:材料力学、機械材料 大分類:ナノテク・材料 小分類:金属生産、資源生産	助教	任期あり(5年)・再任可	材料組織スケールにおけるマテリアルDXによって材料開発を加速させることが急務となっていることから、材料組織を高精度に予測する高性能シミュレーション手法の開発、およびシミュレーションと実験を融合するデジタルツイン技術を確立できる研究者であること。さらに女性もしくは外国人に限定する。	教育実績・学界活動リスト(公募のURLより様式4をダウンロード)		jinji-saiyou17@jim.kit.ac.jp
9	情報工学・人間科学系	情報ネットワーク、情報セキュリティ分野	情報ネットワークあるいは情報セキュリティに関する最先端研究を行う准教授1名を募集して、高度情報専門人材の確保に向けた研究・教育体制を強化する。 情報ネットワークは、6G、Wi-Fi 7/8などの進展に加え、AIとの統合によって大きく進化しつつある。大規模AIモデルの学習や推論を支えるネットワーク(Network for AI)、AIによるネットワークの最適化(AI for Network)、さらにはAIを中核に据えたAIネイティブネットワークの実現(AI-native Network)など、通信とAIは相互補完的に発展している。 同時に、セマンティック通信や機械学習による異常検知、量子計算を用いた暗号・認証技術など、ネットワークとセキュリティを支える先進的なアプローチも進んでいる。AIやネットワークの社会実装が進む中で、プライバシー保護やサイバー攻撃対策といった情報セキュリティの確保も極めて重要である。 これらの研究は、数理解析やアルゴリズム設計といった「情報学基礎」と、AIを支えるスケーラブルな通信・計算・インフラの構築といった「計算基盤」の両面から支えられており、学際的なアプローチが今後の情報社会の中核を担う。 これらの背景を踏まえ本学系では、計算基盤(情報ネットワーク、情報セキュリティ分野)の准教授を1名募集し、情報工学課程・専攻におけるこれらの分野における教育と研究を強化し、産官学連携などによる社会展開を積極的に推進することで次世代の技術革新と社会貢献を目指す。	1名	担当業務： 情報ネットワークあるいは情報セキュリティの分野において、例えば機械学習や量子計算を活用した先進的技術に関する教育研究および学生の研究指導、大学運営業務 担当科目： 情報工学(特に右記の研究分野に関する専門科目)に関連した学部、大学院科目	大分類:情報通信 小分類:情報ネットワーク 大分類:情報通信 小分類:情報セキュリティ	准教授	任期なし	日本語および英語による実験・演習科目の担当、講義、研究指導が可能であること。			jinji-saiyou18@jim.kit.ac.jp

No.	採用組織名	募集する分野	募集の背景等	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	任期	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
10	繊維学系	バイオ機能材料分野	循環型社会の構築を目指す近年の地球規模での取り組みにおいて、天然高分子を用いた機能性材料の利活用は極めて重要である。本公募では、多糖やタンパク質などのバイオマス由来の天然高分子を原料として、新規なナノファイバー材料を創出できる人材を求める。	1名	担当業務: バイオマス由来のナノファイバー材料の創製に関する教育研究 担当科目: バイオベースマテリアル学専攻におけるバイオナノファイバーに関連した大学院科目	大分類: ナノテク・材料 小分類: ナノ材料科学 大分類: ナノテク・材料 小分類: 有機機能材料	教授	任期なし	機械解繊ナノファイバー材料の開発において卓越した研究実績を有し、本学における教育研究に熱意があること。特に、バイオベースマテリアル学専攻バイオ機能材料分野において、従来のナノファイバー材料とは異なる新規なバイオマス由来ナノファイバーの創出から応用利用までを一貫して推進できる人材であること。		本募集では、多様性に配慮しつつ、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用する方針である。	jinji-saiyou19@jim.kit.ac.jp
11	デザイン・建築学系	感性デザイン・ユニバーサルデザイン分野	デザイン学では、身近な現在の現実的課題と大きな社会的理想とを实践と研究の蓄積によって接続することができ、都市でありながら地域共同体が根強く残るこの京都から世界へと発信できる社会実装プロジェクトを推進できる人材が強く求められる。「循環型社会の実現」に向けて、ヘルスメンテナンスや子育て環境、エコロジー関連社会問題に取り組みながら、それを理論研究にとどまらず社会実装を可能とするアプローチができる実務型人材で、なおかつ教授としてデザイン学の研究を束ねることで当該プロジェクトの先頭に立てて推進できる人物が望ましい。	1名	担当業務: デザイン学に関する教育研究および上記専門分野に関する学生の指導 授業担当: ・学部デザイン・建築学課程「デザイン・建築基礎実習」、「デザインプロジェクトⅠ～Ⅳ」、「デザイン方法論」「卒業研究」等 ・大学院前期課程デザイン学専攻「インタラクションデザインⅠ・Ⅱ」「デザインプロジェクトⅡ」「特別研究(特定課題制作および論文指導)」等 ・大学院後期課程デザイン学専攻「プロジェクトデザイン論」「研究指導」等	大分類: 人文・社会 小分類: デザイン学 大分類: 情報通信 小分類: 感性情報学	教授	任期なし	・企業等でデザインに関わる勤務経験を有することが望ましい。 ・海外での実践あるいは研究経験があることが望ましい。 ・フィールドリサーチ等を具体的デザイン成果に結びつける方法論研究に実績があること。 ・デジタル技術分野(IoT, AI等)でのデザイン研究および製品開発の実績があること。 ・日本語による学部・大学院の教育指導、英語による大学院教育指導の経験を有していること	ポートフォリオ(作品集・研究事例集)		jinji-saiyou20@jim.kit.ac.jp
12	デザイン・建築学系	キュレーション、美術史分野	本学系のビジョンである“Transitional Design”を推進するにあたり、日本の文化芸術の変遷についての歴史的分析和現代社会を接続し、新たな価値創造へと繋げる実践的な研究の強化が必須である。さらにその成果を世界へと発信すべく、D-Labとの連携を含めた国際的な芸術プロジェクトを牽引できる人材が求められる。そのため、社会・都市・受容者との関わりという視点で京都／日本の美術を捉え直す研究者を登用することで、京都を基盤とした本学独自の研究強化と国際化を推進する。	1名	担当業務: デザイン学に関する教育研究および上記専門分野に関する学生の指導 授業担当: ・学部デザイン・建築学課程「美術史」、「プロジェクトデザインⅠ～Ⅳ」、「卒業研究」等、全学共通科目、学芸員取得科目の授業担当もあり ・大学院前期課程デザイン学専攻「表象とデザイン」「キュレーション実地演習」「キュレーション講読演習」「特別研究(特定課題制作および論文指導)」等 ・大学院後期課程デザイン学専攻「芸術学・芸術史論」「研究指導」等	大分類: 人文・社会 小分類: 美術史 大分類: 人文・社会 小分類: 博物館学	教授	任期なし	・日本美術史と社会論・都市論・受容論を架橋する研究において顕著な実績を有していること ・日本語による学部・大学院の教育指導、英語による大学院教育指導の経験を有していること ・国際的な教育・研究ネットワークを有しており、多国籍研究プロジェクトを推進する能力を有していること			jinji-saiyou21@jim.kit.ac.jp
13	デザイン・建築学系	世界都市・建築史／都市再生論分野	これまで地域ごとに区分してとらえられてきた建築学が世界都市・建築学として再編されつつある昨今において、本学系の強みの一つであるTransitional Designの成果を世界に発信し、国際学会に積極的な貢献をしていくことが重要になっている。都市・建築史分野を中心に、世界的視野に立った都市・建築研究を牽引し、かつ研究の国際ネットワークの形成を加速させる人材を教授として採用し、本学系の都市・建築史分野全体を都市・建築史分野の先端的研究拠点へと昇華させることを目指す。	1名	担当業務: 世界建築史、都市史、都市再生論に関する教育研究、建築設計演習および上記専門分野に関する学生の指導、京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻における英語による学生指導 KYOTO Design Labにおける国際ワークショップの運営 担当科目: 「世界建築史」、「都市史」、「都市再生論」、「建築設計演習」に関する学部及び大学院科目	大分類: 社会基盤 小分類: 建築史、意匠	教授	任期なし	・世界都市・建築史、とりわけアジアの幅広い地域に関する研究実績を十分に有していること。 ・英語による研究実績を十分に有していること。 ・一級建築士の資格を有していること。 ・海外における教育研究の経験があり、海外連携の拡大に貢献しうるネットワークを形成していること。 ・日本語による学部・大学院の教育指導、英語による大学院教育指導の経験を有していること。			jinji-saiyou22@jim.kit.ac.jp